

『まなこ』manako's
扉をあけて…



扉のむこうに
一歩踏み出すと、
どんな世界が
待っているかな…

イラスト/Naoko

女性の再チャレンジを支援する 「学び直し」講座

再就職を大学が支援 — 日本では、女性の就労率は出産・育児で一気に落ち込み、いったん離職した女性の再就職の場は限定されることが多い。そんな状況を打破しようと大学が「学び直し」講座を開講している。

●国も再チャレンジをサポート

文科省は、07年から、新たなチャレンジを目指す若者、中高年、女性、ニート等を支援するため、「社会人の学び直しニーズ対応推進教育」を進めている。全国の大学・短大・高専に100以上の講座を委託し、開講・運営されている。文科省の委託事業のため学費が低価格に抑えられ学びやすい。今回は女性支援の代表的なプログラムを取材した。

●リカレント教育・再就職システム —— 日本女子大学

月曜日朝9時。ネイティブの先生が英文ビジネス文書について講義を始める。授業はすべて英語。受講生からは活発な質問がなされ、熱心が伝わってくる。



最終的にはTOEIC 800点をめざす。(日本女子大)

日本女子大学リカレント教育・再就職システムは、出産や育児等でキャリアを中断した大卒女性を対象に、もう一度大学に戻って学び直す機会を提供し、レベルの高い再就職先をあつせんするプログラム。

(※リカレントとは循環・回帰を意味する)

1年間で、ビジネス英語、ITリテラシーなどの必修科目と会計学入門や社会保険労務士準

備講座などの選択科目を履修。定員は一期30名だが、応募者数は毎回定員を上回る。英語とPC入力の入試があり、一定レベル以上の人に入学許可を与える。

受講者の年齢層は20代から50代まで、出身大学、既婚・未婚、子どもの有無などのバックグラウンドも多種多様である。

再就職に関しては、受講生だけが求人票を閲覧できる再就職ウェブサイトを作り、多くの求人情報を提供している。また在日米国商工会議所と連携して、修了生対象の再就職支援の「ソフト・ランディング・プログラム」を立ち上げた。

●元気にママチャレ!

—— 昭和女子大学

「働く自分をつくることを前面に出しているプログラムが昭和女子大学の「元気にママチャレ!」。世田谷区の後援も受け、産学地域が連携して運営している。

語学やITなどの講座だけでなく、再就職へ向けての意識づけをはかる講座も用意している。また、大学のビジネス、マーケティング関連の授業も受講できる。本プログラムの核となるのが、蟹瀬令子氏を中心としたキャリアプランニングゼミナール。実業界で活躍する女性たちがファシリテーター(議論の牽引役)となり、8週間にわたって少人数のゼミ形式でディスカッションを行いながら、「どう生きていくか」の問いに自分で答えを出す。受講生の年齢層は30代後半〜40代前半が多く、希望者は提携企業でインターンシップに参加できる(予定)。さらに、

世田谷区民は併設の託児施設で保育を受けられることもできる。1期生36人中4人が起業し、21人が仕事に就くという成果が上がっている。



キャリアプランニングゼミナール(昭和女子大)

能力のある女性が、出産や育児で仕事を離れ、そのまま家庭に埋もれてしまうのはもったいない。再チャレンジを応援する「学び直し」講座の意義は大きい。

取材 作部 径子(文)

●日本女子大学 リカレント教育・再就職システム

キャリアブレイク中の女子大学卒業生のためのリカレント教育・再就職あつせんプログラム(開講2007年9月)
期間:1年間(2学期)
履修単位:15科目 28単位
(必修8科目14単位・選択7科目14単位)
学費:年間14万円
応募資格:4年制大学を卒業した女性
URL:<http://www5.jwu.ac.jp/gp/recurrent/>

●昭和女子大学 元気にママチャレ!

元気に再チャレンジ!産学地域が連携する女性の学び直し・再就職支援プログラム(開講2007年10月)
期間:11週間(大学の講義も合わせて受講すると15週間)
開講講座:キャリア入門科目(必修)
キャリアスキル科目(選択必修)
ビジネス専門科目(選択)
登録料:5千円
受講資格:最終学歴を問わない。
URL:<http://www.swu-mamachalle.jp/>

■男女共同参画推進市民会議報告書ができました。

平成19年8月に設置し、全17回の会議で男女共同参画計画の進捗・策定等について検討し、11月18日に市長へ報告書を提出しました。

市民会議では、現計画の進捗状況をチェックし、新しい計画期間（平成21年度～25年度）にむけて課題の掘り起こしを中心に議論を行いました。

「男女が互いの人権と能力を尊重しあい、働き方や生き方を柔軟に選択できる、男女共同参画のまちづくりの実現をめざす」を基本理念に新しい計画策定に向けての提言を報告書にまとめました。



11月18日に邑上市長に提出しました。

基本理念を達成するために4つの基本目標を定め、それぞれの視点から、市民会議を常設して男女共同参画事業の評価を行う、女性のための総合相談窓口の開設、DV対策のためのネットワーク構築、

ヒューマン・ネットワークセンターと『まなこ』の認知度を60%以上にするなど具体的な提言を述べています。

今後は、この提言をもとに、第二次男女共同参画計画を策定します。策定段階では、みなさんのご意見をお聴きする機会を設けますので、ぜひご意見をお寄せください。

男女共同参画推進市民会議報告書は西棟7階市民協働推進課、図書館、むさしのヒューマン・ネットワークセンターで閲覧できます。また、市ホームページの「施策・計画」でも公開しています。

■『まなこ』編集セミナー

①「『まなこ』74号を一緒に作ろう」を開催しました。

平成20年11月11日、「リビングむさしの」編集長新山明子さんを講師にお招きし、情報誌作りに不可欠なポイントを講義いただきました。参加者はグループに分

かれ、実際に『まなこ』74号の記事アイデアについて話し合い、講師からの指導をうけました。

次号74号を楽しみにお待ちください。

②ライター入門講座「楽しく書ける文章術」参加者募集

自分の伝えたいことを楽しく書いてみませんか。この講座で書くことが苦手な方も楽しく書けるようになります。きめ細かい添削で指導していただきます。

講座終了後はぜひ『まなこ』編集にご協力ください。

日時：平成21年2月2日・9日・16日・23日
全4回（すべて月曜日）午前10時～正午

場所：むさしのヒューマン・ネットワークセンター会議室

講師：西村良平氏

（日本エディタースクール講師・実践女子短大講師）

定員：市内在住・在勤・在学者20名、
保育5名（3ヶ月以上学齢前）

費用：無料

申込み：1月20日までに往復ハガキに

①住所 ②氏名（ふりがな） ③電話番号

④「この講座で勉強したいことや希望」（100字程度）
保育希望の場合は

⑤お子さんの氏名（ふりがな）・生年月日・性別
を記入し市民協働推進課男女共同参画担当へ。

送付先住所 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28

■むさしのヒューマン・ネットワークセンター
連続講座を開催しました。

平成20年10月4日・18日・25日にむさしのヒューマン・ネットワークセンター主催で連続講座を開催しました。「むさしのヒューマン・ネットワークセンターのこれまでとこれから」の基調スピーチやパネルディスカッション、「私たちにできること！したいこと！」のフリートークが行われました。後日記録誌が作成されます。

■企画政策室市民協働推進課 男女共同参画担当

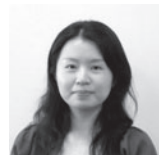
TEL 0422(60)1869 FAX 0422(51)9540

URL <http://www.city.musashino.lg.jp/>

Reporters' 200 Words

『まなこ』レポーターの方に順番に執筆していただきます。

●レポーターの200字コラム
なにか、今、学んでいますか？



受験勉強を続ける
中で感じた学び
林直子(吉祥寺南町)

法律の試験に向けて勉強し、一日の大半を参考書と格闘して過ごす。一見、苦痛に見えるこの光景、なぜ諦めずに続けているのかと自問してみた。それは、試験の先に自分のやりたいことがあると信じるから。試験に失敗し、くじけそうになった時は、その情熱が私の学びを支えているように思う。また、学ぶことは、自分に変化をもたらす、新たな喜びを与えてくれる。そんな素敵な発見が、学びにはあると思う。



ある意味、
学び中です！
藤元ちえ(西久保)

情報誌や生徒募集の記事があると、つい手をとめてしまう今日この頃。学生時代は特に優等生だったわけでもないのに、歳月が過ぎると共に、無性に「学ぶ」機会がほしくなります。現在は、二人の子育ての中で、気力、体力的になかなか思う通りにいかず、世間に取り残される不安と戦いながら、いつか、大好きだったお芝居をもう一度学んだり、新しい事にも挑戦しながら、ゆっくり自分の人生を楽しむ時がくるのを思い描く日々です。

平成20年度 第3回 レポーター会議

72号

「【知る】ために～地域の情報ネットワークを活用しよう!」を読んで

■情報収集・発信の手段は多様で、考え方も人それぞれなので、難しいテーマだと思った。また、情報ツールを使う・使わないによって、情報の格差が出てきていると感じる。(60代・男性)

■どの記事も読み応えがある内容だったが、片手間には読めない。もう少し読みやすさやメリハリが欲しい。(40代・女性)

■さまざまな立場の人の考えが掲載されてよい。(20代・女性) (30代・女性) (40代・男性)

■地域で男性をつなぐネットワークはまだ少ない。その結果、情報も入りにくく、孤立化しやすいと思う。(20代・女性) (40代・女性) (60代・男性)



10月18日(土) 10:00～12:00
市役所813会議室にて

73号

「【知る】喜び～まなこと学ぶ」に向けて

■地域活動に参加しづらい男性でも、学ぶことであれば参加しやすいと思う。(20代・女性)

■学ぶためには子どもを預けなければならないので、ためらってしまう。将来子どもの手が離れてからにしようと思っている。(40代・女性)

■司法試験の勉強中。早く突破して仕事がしたい。(20代・女性)

■子育てが今の私の学び。(40代・女性)

■武蔵野地域自由大学を受講している。(60代・男性)

■外国の子どもたちを日本の家庭にホームステイさせる事業に関わっている。子どもから、文化の違いなどを学んでいる。(40代・男性)

■以前育児に悩んだ時、子育ての講座に行ったことがある。悩むこともあるが、学ぶことも多いと思う。(30代・女性)

■週に1回のテニスガリフレッシュになっている。(30代・女性)



BOOKS

むさしのヒューマン・ネットワークセンターの蔵書の中から

● 男も女も更年期から始めよう

976人に聞いたその時の変化・これからの準備

野末悦子・メノポーズを考える会 / 安井禮子
関谷透・横山博美・村瀬幸浩



高齢化社会においてちょうど更年期は人生のターニングポイントにあたり、更年期以降の人生がとても長くなっている。心と身体の変化は女性だけではなく、男性にもあるということを知ってほしい。アンケートによる実態調査や体験談・更年期障害の相談を受けている活動団体の記事など共感できる。変化を受け入れて新たなスタートに備えたい。

● 子どもと親と教師のためのサイバーリテラシー

矢野直明+サイバーリテラシー研究所



今や、いつでも・どこでもネット社会とつながることができケータイは便利で魅力的な必需品。しかし、ネット社会のしくみについて学ぶ機会は意外にないままに利用している。

インターネットのしくみやルール、ケータイの使い方などわかりやすくイラストを中心に説明した入門書。

現実社会とネット社会の違いを知りネット社会を正しく安全に生きるために不可欠な知識と能力、それが「サイバーリテラシー」。

武蔵野市境 2-10-27 武蔵野市政センター 2階 TEL・FAX 0422 (37) 3410
E-mail mhnc@tokyo.email.ne.jp URL http://www.mhnc.jp/

編集後記

★ postscript ★ postscript ★ postscript ★ postscript

★ STAFF

レポーター 井上牧子 田中 博
新倉育男 橋本光枝
林 直子 藤元ちえ
取材・編集 作部径子 (編集長)
遠藤梨栄 清原理恵
戸田真帆子 林 直子
守谷洋子
編集協力 栗原 毅
表紙デザイン きたもりちか
レイアウト 小井戸厚子
印刷 社会福祉法人
東京コロニー

★
3月31日発行予定の74号は「まなこ」で「知りたい!」Happyコミュニケーション・ライフの始め方(仮)がテーマです。11月開催の「まなこ」セミナーで受講者からいただいたアイデアをもとに特集します。あなたは春から始めたいこと、ありますか?」

■ 学ぼうとする人、学んでいる人は、男女関係なく、生きることや生活に前向きで、みな輝いていた。(遠藤梨栄)
■ 今回編集に初めて参加。わたしにとつて『まなこ』が新たな学びの場。よろしくお願ひします。(清原理恵)
■ 「やりたい!」気持ちがあれば、学びの扉はひらきます。取材でたくさん励まされました。(戸田真帆子)
■ 子育てからは本当に多くのことを学んだ。これからは自分の興味のおもむくままに、学びたい。(林 直子)
■ PCを買い換え、画像ソフトを学んでいる。難しい、でも楽しい。(守谷洋子)
■ 学校に行くよりも、実践的に学ぶ方が身につくことも『まなこ』に関わりながら日々学んでいます。(作部径子)